

京都工芸繊維大学学術機関リポジトリ 「KIT学術成果コレクション」

KIT学術成果コレクション

- ・平成18年度及び19年度は、本学の美術工芸資料館が所蔵するポスターから約300点、村野藤吾建築設計図面集から約170点についてそれぞれ登録を完了しました。
- ・平成20年度以降は、学術論文、紀要論文、学位論文等を中心に登録する予定です。

<http://repository.lib.kit.ac.jp/dspace/index.jsp>

<美術工芸資料館の紹介>
美術工芸資料館は1980年学内共同教育研究施設として設立され、本学前身の京都高等工芸学校創設時(1902年)から教材として収集してきた資料を所蔵し、所蔵資料について教育研究を行い、さらに展示を目的とする施設です。




「ケルムスコット・プレス設立主要部(巻頭見開)」
ウィリアム・モリス 著 1898年



「中津岩太博士像」横井 卓
1903年京都高等工芸学校初代校長



「ハンガリーの陶器(鉢)」京都高等工芸学校陶器科の教材・標本として購入・収集された陶器

「既述種(類)、蜀状竹節に宜しくし種：黒地刺格子に唐様種小輪紋」

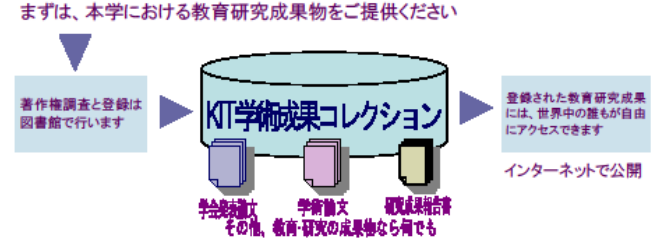
KIT学術成果コレクション
KIT Academic Repository

京都工芸繊維大学
www.instituteoftechnology.kit.ac.jp

KIT学術成果コレクションで 教育研究成果を発信しませんか

<http://repository.lib.kit.ac.jp/dspace/index.jsp>

KIT学術成果コレクションとは、工繊大に所属している(または、かつて所属していた)教職員、学生の皆さんの本学における教育研究成果を保存し、インターネット上で公開するシステムです。



●活用の利点

- 1. 教育研究成果のインパクトが高まる**
Google Scholarをはじめ、さまざまな検索エンジンからハイクラスされるので、多くの人の目に留まります。またフルテキストを公開しますので広く教育研究成果を知ってもらうことができます。
- 2. 自分の教育研究成果の保存庫として便利**
恒久的なURLを付与しますので、アーカイブとして未来へご利用いただけます。
- 3. アクセス状況がわかる**
毎月1度、登録された成果物にどれくらいアクセスがあったかをメールでお知らせします。

ご登録・お問い合わせ
情報課 坂子(へいし) eb7060@jim.kit.ac.jp
大久保 uf7191b@jim.kit.ac.jp
中田 uf7105a@jim.kit.ac.jp

京都工芸繊維大学附属図書館